

基本目標6 みんなが主役の協働のまち

1 地域間交流・コミュニティ



【現状・課題】

- ・少子高齢化に歯止めがかからない現状において、地域コミュニティでの支え合いや自然災害に対する備えなど、自助・共助の取り組みが求められている反面、高齢化による担い手不足やコミュニティ活動への参加率の低下など多くの課題を抱えています。
- ・各集落の役割は、これまでの祭事や集落活動に加え、要支援者の対応や防災への取り組みなどが加わり、年々重く多様化しています。住民からの要望に対し、行政サービスによってすべて対応するには限界がある中、各集落単位で住民自らが主体的に取り組み、可能な限り集落ごとに解決できる仕組みづくりが必要です。
- ・買い物支援や住民の移動手段の確保など、集落単位では解決できない課題に対しては、地域間での連携した取り組み、地域と地域をつなぐ人材の育成が必要です。

【基本方針】

- ・集落活動の維持、継続に向けた支援の充実や、各種団体との連携を促進し、地域協働のまちづくりを進める体制整備に努めます。
- ・住み慣れた地域で安心して住み続けることができるよう、地域を支える担い手の育成、住民力の向上に向けた取り組みを進めます。
- ・集落活動センターや遊休施設等の活用など、「地域」と「人」がつながる交流の場を整備し、コミュニティの活性化を図ります。

【主な取り組み】

取り組み (主要施策)	取り組みの内容
集落組織を中心とした地域づくりの推進	・地域住民が地域課題の解決に主体的に活動ができるよう、自治意識の啓発を図り、地域活動への理解と参画を促進します。
地域人材の育成	・実情に応じた地域づくりのために必要となる地域リーダーや担い手の育成を支援します。
地域と人がつながる場の整備	・交流の場の整備を支援するとともに、地域を担う後継者の育成を支援します。

【目標指標】

指標名	単位	令和元年度 (現状値)	令和7年度 (目標値)	測定（取得）方法 及び設定の考え方
「地域の拠点」の開設	件	1	3	【まちづくり推進課】 新たなつながりの場を整備し、コミュニティの活性化を図る

2 自治体運営



【現状・課題】

- ・多様化する住民ニーズに対応するため、介護施設や公営住宅建設等、各種補助事業や地方債の発行により積極的な公共投資を行った結果、公債費負担が財政運営を圧迫し、財政の硬直化が顕著になっています。
- ・本町は高度成長期から昭和50年代を中心に整備した多くの公共施設を保有しており、今後老朽化した施設の除却や大規模修繕が必要となることから、増大する維持管理や修繕等に要する経費への対応が課題となっています。
- ・長期的な町税の減少傾向と、地方交付税などの依存財源の削減により、歳入の大幅な増収は見込めないことから、今後益々厳しい財政運営を迫られることが予想されます。
- ・効率的な行政運営と行政サービス提供のため、民間活力の導入検討や、適材適所の人員配置及び人材育成を進めるとともに、デジタル技術を活用した行政サービスの効率化を進める必要があります。
- ・今後も財政見通しの悪化が予想されていることから、より一層の効率的かつ効果的な行政運営を推進するためには、新しい行政ニーズに対応した組織機構の見直しが必要です。
- ・職員の資質向上、また、特定個人情報等の高度な個人情報を取り扱うためのセキュリティ対策強化が求められています。

【基本方針】

- ・厳しい財政状況の中、多様な行政課題に対応するため、限られた財源を効果的かつ効率的に配分するとともに、自主財源の確保等による健全化に取り組み、計画的で持続可能な財政運営を図ります。
- ・効率的な行政運営を推進し、質の高い住民サービスの提供を目指すとともに、他自治体との連携や事務の共同等により、業務の効率化や施策の実効性の向上を推進します。
- ・新たな行政課題や多様化する住民ニーズに迅速かつ的確に対応できる職員の育成や専門的能力を備えた職員の育成に努めます。

【主な取り組み】

取り組み (主要施策)	取り組みの内容
行政事務のデジタル化・システム化の推進	・行政手続（申請及び申請に基づく処分通知）のオンライン実施に向けた検討を行います。
行政サービスの向上	・個人情報に留意し、行政サービスの向上を図ります。
自治体クラウドの推進	・共同利用による経費削減や効率性の追求、セキュリティの確保を図ります。
研修機会の確保	・人材育成のため、外部の専門研修機関や民間企業等を活用し、専門的かつ幅広い知識、技能、経験を習得できる研修機会を確保します。

【目標指標】

指標名	単位	令和元年度 (現状値)	令和7年度 (目標値)	測定（取得）方法 及び設定の考え方
財政計画の作成	件	—	1	【総務課】 健全で持続可能な財政運営を目標とする
講師を招へいした職員研修会の開催	回	1	3	【総務課】 研修機会を増やし、受講促進による研修受講者の増加を図る
能力開発を目的とした外部研修への参加	人	10	20	【総務課】 広域的な研修参加による人材育成